

試験データ

紫外線の殺菌パワーはコロナウイルス (FECV) にも効果があります

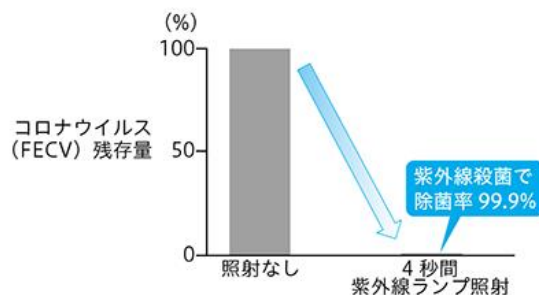
新型コロナウイルスと類似するネコ腸コロナウイルス (Feline enteric coronavirus, WSU79-16837) の不活化試験を外部試験機関 (一般財団法人北里環境科学センター) にて実施し、その有効性を確認しました。

紫外線ランプ照射によるウイルス不活化試験

	紫外線ランプ (GL-15) × 1本	
	照射前	4秒間
コロナウイルス (FECV) 感染価 PFU/mL	460,000	5 以下

試験方法：ネコ腸コロナウイルス液 (FECV) 1mL をシャーレに滴下し、紫外線ランプを照射、感染価をプラーク法で測定。

試験機関：一般財団法人北里環境科学センター
(北環発 2020_0699 号)



60分で約90%、120～180分で約99%の除菌性能があります

紫外線除菌装置の浮遊ウイルスに対する除去性能評価試験 (JEMI467 付属書 D)

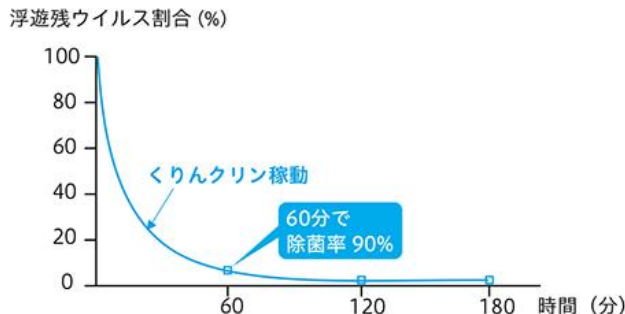
	浮遊ウイルス (PFU/20 L-air)			
	0分	60分	120分	180分
自然減衰	17,000	17,000	12,000	8,300
くりんクリン Stand	21,000	2,000	130	16
くりんクリン Basic	56,000	6,000	2,100	370

試験方法：25m³ 試験チャンバー (2.7×3.8m 高さ2.4m) 内に試験製品を配置。噴霧器で試験ウイルスを噴霧、浮遊させ、製品を運転し、所定時間後、捕獲器で空気を吸引し、ウイルス数を測定する。

試験ウイルス：大腸菌ファージ (Escherichia coli phage φ x174 NBRC 103405)

試験機関：一般財団法人北里環境科学センター
(北生発 20205031607 号)

浮遊残ウイルス割合と時間の推移 (くりんクリン Stand)



機器を1回通過すると「99.9%除菌」できるほど紫外線殺菌は強力

紫外線除菌装置による浮遊菌のワンパス試験

	浮遊残菌数 (DFU/10L-air)	除菌率
紫外線なし	1,900,000	99.9% 以上
くりんクリン Stand	930	

試験方法：細菌をミスト化した試験菌液を、吸気側から紫外線ランプが点灯している装置内部を1回通過させます。紫外線ランプ点灯時と消灯時の排気側の菌数を測定し、除菌性能を評価。

試験機関：一般財団法人北里環境科学センター
(北生発 20205031609 号)

設置容量の目安 (くりんクリン Stand、くりんクリン Basic)

60分で処理可能な空間容積 48 m³ (天井 2.5m で 12 畳)

くりんクリンの風量は 0.8m³/min なので、60分に約 48m³ の空気を処理します